|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 第17回運営懇談会報告書 | | | | | |
| 開催日時 | | | | | 平成28年11月23日（水）11：30～13：30 |
| 場所 | | | | | 7階デイケア |
| 参加者 | | | | | 入居者家族様19名、柏拠点長補佐、古川ﾎｰﾑ長、有井介護主任、中泉介護ﾘｰﾀﾞｰ、高橋介護ﾘｰﾀﾞｰ、前田介護ﾘｰﾀﾞｰ、道方介護ﾘｰﾀﾞｰ、奥村看護師、風早計画作成担当、西岡機能訓練指導員、迫田生活相談員 |
| ・開会の挨拶  柏拠点長補佐   1. 本日の流れの説明 2. ホーム長交代のお知らせ   12月1日より、今までホーム長を務めました柏に変わり、古川がホーム長に就任。 | | | | | |
| 議題1 | | | | ガーデンハウスの取り組みについて | |
| 柏拠点長補佐   1. 入居状況について   緑井ガーデンハウスの平均介護度は2.4である。今年度は、要支援者が施設に入居後に、お元気になられご自身で自炊等行いたいなどの理由で在宅に戻られるケースなどがあった。要支援者に対しての取り組みに課題がった為、今後は要支援者・要介護者に対しての取り組みも強化していきたい。   1. 看取りについて   緑井ガーデンハウスでは看取りを実施している。昨年の看取り件数が22名～24名であったが、今年度に関しては今のところ2名となっている。事業所の取り組みの成果が出ている。緑井ガーデンハウスのコンセプトとして、入居されてから緑井ガーデンハウスで長く生活をしていただき、馴染みの中で看取りまで迎えていく。  今年度は看取りもただ形でやるのではなく看取りに対しての取り組みを明確にするように取り組んでいる。   1. 職員について   昨年、職員がくちた園開設に伴い異動しその後の職員採用に苦戦したということを4月  にご報告したが、今年度は、入職者は11名、残念ながら退職者が4名であった。退職者の中には、親の介護等の理由があった。  現在は今のスタッフで落ち着いてきており育成をしっかりしていきたい。 | | | | | |
| 議題2 | | | 看取りケアの取り組みについて | | |
| 風早CM   1. 看取りケアの取り組みについての事例発表。   今年度は看取りケアについて力を入れて取り組んできた。看取りケアを実施し10月に亡くなられた方の取り組みについて報告する。   1. 自宅で過ごしていたが認知症があり、近所に徘徊等をして自宅で見るのは難しくなり26年6月にガーデンハウスに入居される。入居時は、認知症はあったが声掛けには理解され生活されていた。28年の7月に転倒し、動けない状態から寝たきりになり、誤嚥性肺炎も併発し嘱託医お話しがあり、今後の方針を検討することとなった。ご家族同士で話し合った結果、ガーデンハウスでの出来る限りのことを行い、看取りを行う事となった。 2. カンファレンスを開き、その中で今後どうしていくか家族様の希望を確認した。その際に「一日日課がわかるようにご飯は食べられないけど3食食事を提供してほしい、その際にしっかり声掛けをしてほしい。」という希望が出た。この時点で飲み込みも悪くご飯が全く食べられていない状況であり、ご飯を提供することで「朝ごはんですよ」「昼ごはんが来ましたよ」と言うことで時間の流れを感じてほしいとの事だった。あとは手を握ったりさすったりすることで刺激になると思うのでそうして欲しいとの事だった。こちらからの提案で、ご飯が食べられなくなることで唾液が減り、口腔内感染などが起こる可能性がある為、訪問歯科に来てもらい口腔内を清潔にしてもらうことを提案した。寝たきりで褥瘡ができやすいため、褥瘡ができる原因を排除することをお話した。上記の事をスタッフ全員で行っていき、ご家族様もよく来所していただけたため、その都度状況を報告し、家族様間での連絡ノートも作成した。血圧や熱など血中酸素濃度も居室に記録したものを置き、誰でも閲覧できるようにした。 3. 28年の10月にこの方は永眠された。その後に私達がしてきたケアはどうだったのかエンディングカンファレンスを行った。今回はご家族様の意見は聞くことは出来なかったが、今後は亡くなられた後にご家族様の意見を聞いていけたらと思っている。その中で出た意見として、良かったこととしてチームとしてその方に対して職員全員が看取りケアができたこと、反省点についてはご本人様からの希望が聞けなかったため本当はもっとやりたいことがあったのではという疑問が残った。 4. 今後の課題としては今がとっても大切で今のうちに本人様、家族様が望まれることは何なのか、施設職員として知っていきたいということ、悔いが残らないように関わっていく関係作りをしていきたいということ、各フロアで共通意識を持つために委員会を通して発信をしていこうという事が今後の課題となった。なかなか、したいことは出てこないもので、昔何気なくやっていたことや、体が不自由になる前はできていたのにという事などの希望はお伺いしたいと思っており、家族様からも話が聞きたい。 | | | | | |
| 議題3 | 満足度調査についての取り組みの報告 | | | | |
| 有井介護主任   1. 満足度調査に対しての活動の経過について、4月度に家族様より調査の返答をいただいたことに対しての活動について、まず食事の量と形態の改善についてはカンファレンスの開催を増やし給食委員会で見直していくことにした。看護師にも現場に入ってもらい入居者様の状態にあった食事ができるよう日々の様子を観察して今後も継続いく。メニューについては健康についてのテーマを決めた。5月6月は骨粗鬆症、7月8月は血液サラサラのメニュー、9月10月は腸内環境を整えるといったことをテーマに決めてメニューを作成して提供させていただいている。故郷を思い出していただくようアンケートを取り、ご当地メニューなどを取り入れた。 2. 排泄では、トイレでの対応にて使用する物品を置き忘れないようにバケツを使用して処理をするようにしているが習慣づけができるようにしていきたい。体の状況によっては介助が必要な時には声掛けや対応などをフロアの方で話し合い職員同士で工夫して対応ができるように行っていく。排泄後の居室の換気や消臭については引き続き行っていく。 3. 入浴について、室温調整は外気との温度差がないように浴室の調整は1時間前に暖房を入れている。これからも注意していく。洗い残しふき残しの対応については特に足の指の間のご意見を4月にいただいているが指の間を洗うように全体に周知している。ご自分で入浴されている方には声掛けをして見せていただいている。 4. 衣服について、季節に合った衣服が着られるよう入居者様と一緒に入浴前に服を選んでいる。また、タンスの整理を実施しているが、出来ていない日と出来ている日があるため引き続き実施していきます。 5. 掃除について、エアコンの掃除を4月にご意見いただき、夏前にエアコンフィルターの掃除を行った。年末にかけてフィルターや廊下、ドアなども掃除を実施する予定にしている。トイレ洗面台の掃除は毎日行うようにしているが出来ていない日があり、トイレの汚れについてはご自分で排泄される方についてタイミングが合わなくきれいにできていないことがある。ゴミ集め時に訪室した際に確認するなどを今後も行っていく。 | | | | | |
| 質疑応答  Ｑ：ご自分でされている方はという事はスタッフの方で掃除を見ていただけないのか？  Ａ：ご自分でされている方というのはお一人で排泄の方をされている方という事で掃除はスタッフが行っている。  Ｑ：入浴日の午後に面会に来た時に頭が臭うことが時々あるが本人が自分でシャンプーをしているのか？入浴後に保湿はしているのか？  Ａ：シャンプーはスタッフが手伝っている。入浴後も施設で用意した保湿クリームを塗布している。シャンプーは今後注意していく。 | | | | | |
| 議題4 | | 家族会の活動について | | | |
| 古川ホーム長   1. 年に2回ほど家族会をしており、今年は夏に「生活リハビリ」をテーマに行った。今後予定として毎年クリスマス会の時にご家族様が来られた際に歌詞本を用意しているので前に出て2曲ほど一緒に歌ってもらっているので日にちが合ったら是非お越しいただきたい。自分の家族が前に出て歌を歌われるという姿を入居者様が見るというのは昔に返る形ですごく活き活きしている表情が見られるのでそういった楽しみもあるため、お願いしたい。 2. 1月には認知症についてこちらの対応の事例を作って発表をしていきたい。また、意見交換という形で交流会を持ちたい。日程が決まり次第手紙で送付する。 3. 連絡事項として、毎週買い物代行を土曜日に行っているが、土曜日は店が込み合っておりレジで一枚ずつ領収書を切ってもらうのに他のお客様に迷惑がかかるため、お客様が少ない金曜日に1月から変更する。お手紙の送付と施設内に掲示し皆様にもわかって頂くようにしていく。 4. 外部マッサージの案内で料金表が無い物を載せてしまったため本日添付している。マッサージは好評で毎回約10名の方が希望の申し込みがあるため、毎週申し込める状態でなく次の週にずれるといった状況である。時間は一日4～5名となっていることを了承していただきたい。 5. 今日は刻み食とソフト食とミキサー食を用意している。だんだん嚙む力が弱くなったり噛めないまま飲み込んでしまい誤嚥をしたりムセたり機能がだんだん低下していく中でいきなりミキサー食に落とすのではなく、段階を踏んで食事形態を変えていくようにしている。極刻みはパサパサしてしまうためトロミ状のものを上にかけて包み込むように食べていただいている。ソフト食は舌と上顎で潰せるくらいの固さであり、極刻みだと粒状のものが口の中に残り、器官に入ってむせてしまう方もいるため、ソフト食で誤嚥もなくしっかり飲み込んでもらい食べていただいている。ミキサー食は嚥下は出来るものの、しっかり噛むことが難しい方に食べていただいている。試食しながら味がどうなのか、ご意見頂戴したい。 | | | | | |
| 会食 | | | | | |
| 意見交換   1. 一人一人担当者がいるとのことだが、もし担当者が変わったのなら教えて欲しい。   →担当者が変わった時にはご報告させて頂く。   1. ここの施設の事がよく分かった。   →今後も施設の活動を知ってもらえるようにしていきたい。   1. 外出レクをする際には事前に本人に行く旨をこまめに伝えておいてほしい。そこで家族も手伝えることは手伝っていきたい。   →外出に行く際は事前に何日か前から声掛けをさせてもらい、楽しみを持ってもらうようにしていく。   1. 家族様の中で、もし趣味や特技がある場合には施設の中で教えて頂きたい。   →家族でできることであれば是非させてもらいたい。   1. 外出時に排泄の事でどうしたらいいか困っている。   →失敗防止用にリハビリパンツを使用している方もいる。こまめにトイレに行った方がいい。 | | | | | |
| 閉会の挨拶  運営懇談会の参加者へお礼と閉会の挨拶をする。 | | | | | |